

公共事業新規評価調書(整備系)

本部分 部名	〇〇部	記入 責任者	〇〇課 〇〇事務所	課長 所長	〇〇〇〇 〇〇〇〇
-----------	-----	-----------	--------------	----------	--------------

事業 区分	道路	事業名	地区名等	総事業費	〇〇百万円
	広域事業	道路改良事業	国道〇〇〇号 (〇〇バイパス)		

事業地		着工予定年度	完成予定年度
〇〇市大字〇〇～××市大字〇〇地内		平成〇〇年度	平成〇〇年度

事業目的	事業内容
<p>一般国道〇〇号は、〇〇県××市を起点とし、〇〇市等を経て〇〇郡××町に至る幹線道路である。</p> <p>〇〇県境から約〇〇km区間は、昭和〇〇年度から〇〇バイパスとして整備を行っており、平成〇〇年度に〇〇トンネルが完成し通行不能区間が解消した。残る〇〇ダムによる付替え区間においては、市道付替えが完了し、2車線の確保ができています。しかし、〇〇バイパスから〇〇市内に至る区間には一部幅員狭小の未改良区間があり、交通の障害となっている。</p> <p>この区間の改良をすることにより、安全で円滑な交通を確保し、災害時の緊急輸送路の確保、広域交流の促進及び地域の活性化を図るものである。</p>	<p>事業区間延長 L=〇〇km (〇工区)</p> <p>道路幅員 W=〇〇 (〇〇) m</p> <p>道路規格 〇種〇級</p>

評価の視点	評価内容	評価
(1)位置づけ	県土づくり本部戦略(重点推進項目名を記入してください) (0点、10点)	A
(2)必要性・効果		
(3)実施環境		B

評価	AAB	条件等
判断	I	
	優先的に事業実施	

定性評価調書

○自然環境保全

内 容

※ 動植物の保護、農地の保全、山地・山間地の保全、水辺環境の保全等に配慮している事項について、工法、対策、留意事項を記載。

○生活環境対策

内 容

※ 大気・水・土壌・地盤環境の保全、リサイクル、文化財、バリアフリー、周辺土地利用状況等に配慮する事項について、工法、対策、留意事項を記載。

○コスト縮減策

内 容

※ 再生材・発生材の使用等、具体的なコスト縮減策を記載。

○その他

内 容
(重点実施項目、マニフェスト、合併支援、プロジェクト関連、振興策、その他特記事項)

※ 特に記述することがあれば記載。